

29期 竹本大鶴 様から「書」を寄贈して頂きました

この書は 改組 新 第4回日展 の入選書です。北辰記念室に陳列してあります。

書の内容

出威遠邊門

威遠の辺門を出ず

楊賓（清）

黃沙漠漠暗乾坤

黃沙漠漠として乾坤暗く

威遠城頭欲斷魂

威遠城頭 魂を斷たんと欲す

蘆管一聲催過客

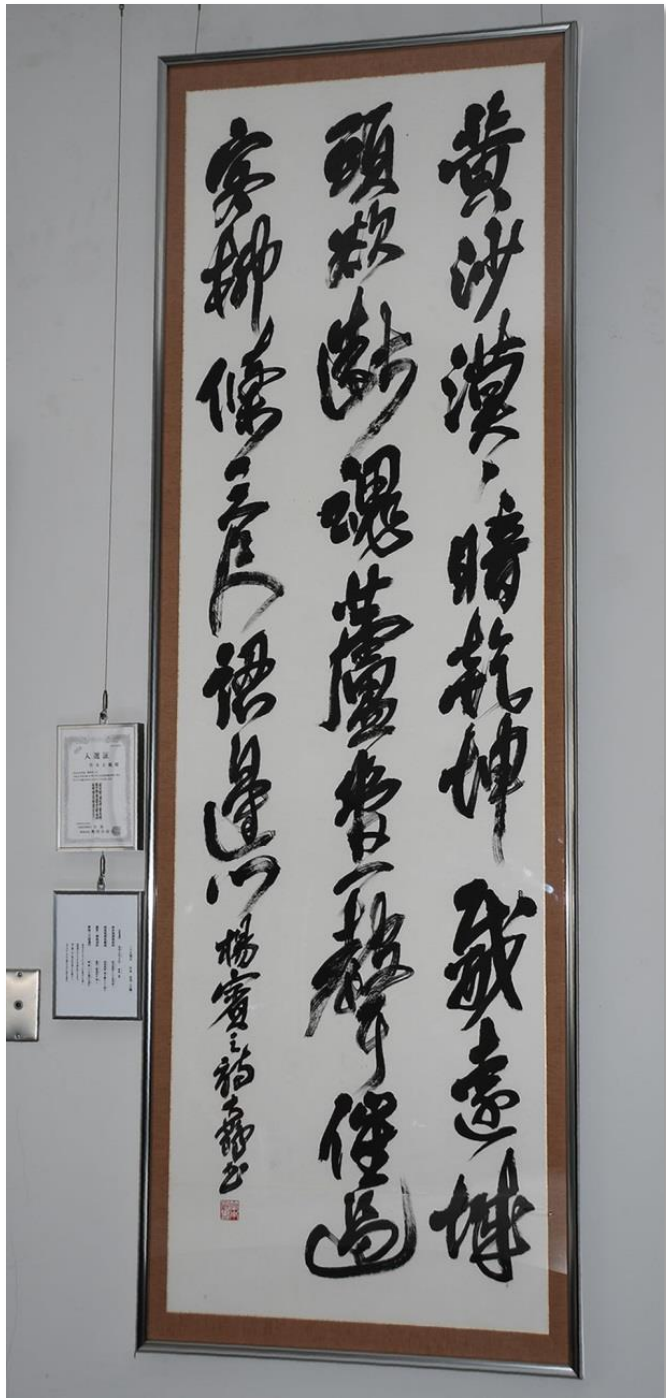
蘆管一聲過客を催し

柳條三尺認邊門

柳條 三尺邊門を認む

書の意味

黃沙がもうもうと上がって天地はうす暗く、  
威遠城のほとりは心が凍る思いである。  
時に聞くあし笛の音が旅人心を動かし、  
わずかにしだれる柳のそばに辺門を望む。



14期 増野 喬 様から「絵」を寄贈して頂きました

この絵は北宸記念室に陳列してあります。

絵画の由来

14期4組の有志（おおむね10名程度）は毎年1回各地を旅行し、旧交を温めております。

平成22年には安曇野方面を旅行致しました。絵はその思い出の場所です。

朝もやが晴れ水面が輝いた様子を絵にしました。

14期 増野 喬



安曇野初秋

増野 喬 氏  
14期 増野 喬 様  
北宸記念室に寄贈

絵のタイトル : 安曇野初秋